

担当課長から説明を受けた後、1名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査を行ったところではありますが、その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会でありますので、後刻、会議録によりご承知くださいますようお願いを申し上げ、審査の結果のみご報告を申し上げます。

議案第39号 令和4年度長井市一般会計補正予算第3号の1件につきましては、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程で委員各位より出されました質疑、意見等については十分に意を用いられ、事務の執行に当たられるよう申し上げ、予算特別委員会の審査の報告を終わります。

○浅野敏明議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第2、議案第39号 令和4年度長井市一般会計補正予算第3号の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

日程第2、議案第39号 令和4年度長井市一般会計補正予算第3号の1件について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第39号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

## 委員会付託の省略について

○浅野敏明議長 お諮りいたします。

これから上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

## 日程第3 議案第40号 令和4年度長井市一般会計補正予算第4号

○浅野敏明議長 それでは、日程第3、議案第40号 令和4年度長井市一般会計補正予算第4号の1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 おはようございます。

議案第40号 令和4年度長井市一般会計補正予算第4号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に2億696万9,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ187億954万7,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、歳出におきまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業費や、芸術文化振興事業費を追加措置いたすものでございます。

歳入につきましては、歳出の財源となる国県支出金、寄附金、繰入金を追加計上いたすものでございます。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明議長 提案者の説明が終わりました。

これから質疑、討論、採決を行います。

なお、申合せにより、委員会付託を省略して全員による審議の場合、当日提案議案の質疑につきましては、一問一答の方式により行うこととされております。質疑の時間は、1人当たり答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、日程第3、議案第40号 令和4年度長井市一般会計補正予算第4号の1件について、質疑を行います。ご質疑ございませんか。

14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 10款教育費、学校給食費についてお伺いいたします。佐藤給食共同調理場長にお伺いいたします。

一般質問で、学校給食等の負担軽減等として、地方創生臨時交付金の拡充によるコロナ禍における原油価格、物価高騰の対応分の活用を要請しておりましたが、早速新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を提案いただきました。そこで、先日、全員協議会で提案説明をお聞きいただきましたが、改めて質問させていただきます。

まず、学校給食等負担軽減支援事業として、小学校14.0円に1,166人分、205日分として334万6,420円、中学校が16.5円、それに600人掛ける196日ということで194万400円という、合計の事業費が528万7,000円の事業費が提案されております。

まず最初に、1点、小学校、中学校の支援額14.0円、16.5円の計算根拠について改めて佐藤給食共同調理場長にお伺いしたいと思います。お願いします。

○浅野敏明議長 佐藤秀人給食共同調理場長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 ただいまの今泉議員の質問にお答えさせていただきます。

補助単価の積算根拠ということでございますけれども、補助単価につきましては、物価高騰等の影響を対外的にも説明可能な目安といたし

まして、総務省から示されております指標でございます消費者物価指数を用いて算定しております。1食当たりの標準的な給食費、小学校、中学校それぞれ8品目ごとに伸び率ということで指数を勘案いたしまして、物価上昇影響分としてまとめたものを補助単価としてございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 承知いたしました。

次に、支援日数ですが、小学校205日、それから、中学校が196日となっております。説明では1年間ということでしたが、今年度、令和4年度の4月から3月分という計算になるのでしょうか。遡っての支援となるのでしょうか。確認したいと思います。

○浅野敏明議長 佐藤秀人給食共同調理場長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 お答えいたします。

日数の積算といたしまして、年間提供日数を採用させていただいております。こちらにつきましては、コロナ臨時交付金事業の趣旨、コロナ禍の影響において物価高騰等に直面する保護者を支援するための事業でございますので、遡及しての補助を認めていただいております。令和4年4月1日から実施される事業として、補助交付前、補助交付決定前に着手していても補助対象になるということでございますので、児童生徒の保護者からのご負担で成り立っております学校給食会計に対しまして、できるだけ効果の高い施策となりますよう積算をさせていただいているところでございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 確認いたしました。

それで、3番目です。この支援額というのは、先日の全員協議会で給食会計に補助金として支援すると説明なさっておりましたが、これは食材に支援ということでよろしいのでしょうか。確認させてください。

○浅野敏明議長 佐藤秀人給食共同調理場長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 お答えをいたしま

す。

学校給食会計につきましては、児童生徒の食材のための会計でございますので、あくまで食材に対する補助ということになるかと思っております。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 了解いたしました。電気代とかそういうものではなくて、それは、人件費とかはまた別な会計なわけですからね、食材ということですね。はい、ありがとうございます。承知いたしました。

それでは、子育て推進課長にお伺いいたします。

このたび、学校給食と同じように、保育施設等給食費負担軽減支援事業でも予算が計上されております。考え方は、児童センターですね、給食共同調理場でしています児童センターの分は、今の佐藤課長と同じような考えでよろしいのでしょうか。

○浅野敏明議長 鈴木幸浩子育て推進課長。

○鈴木幸浩子育て推進課長 お答えさせていただきます。

児童センターのほうにつきましても、学校のほうと同じ考えでございます。食材費の高騰に対しまして補助をしていくというものでございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 説明も受けておりましたけども、民間保育所等は補助金としての支援ということで確認させてもらってよろしいでしょうか。

○浅野敏明議長 鈴木幸浩子育て推進課長。

○鈴木幸浩子育て推進課長 民間につきましては、補助という形で支給をさせていただきたいと考えてございます。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 それぞれ確認させていただきました。このたびの補正予算は、地方創

生臨時交付金の積極的な活用で、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食が実施されること、そして、保護者の負担を軽減すること、大変よかったと評価したいと思います。終わります。

○浅野敏明議長 ほかにございませんか。

13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 2つの項目でちょっと確認をさせていただきます。

まず1つは、今、今泉議員が質問された学校給食費の負担の軽減支援事業で、食材に補助をするというのは大変、コロナ禍等いろいろな国際情勢の中で、いろんなものが値上がりをしていく中で保護者の負担軽減を図るという意味では、私も、決断をされたということ、国の補助を上手に受けていただいたなと評価をしたいなと思いますけども、先ほどの回答で、遡ってという回答がありました。しかも、これは食材に限りということなんですが、例えば、もう既に給食を供給されている4月、5月、ほぼ6月の分の食材の補助というのは、直接保護者に補助した分をお返しするのか。また、食材をこれから買ったり、購入をしたりする部分で、学校給食調理場として、これからも値上がりが予想されるとすれば、ストックをして、年間で何%かの補助ということで行うのか、そこを確認させていただきます。

○浅野敏明議長 佐藤秀人給食共同調理場長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 それでは、先ほどの質問にお答えさせていただきたいと思います。

先ほど、今回の補助金につきましては、遡及しても構わないということでお話をさせていただいたところでございます。なおかつ、学校給食会計のほうにプールをするような形で実施をしていくということで考えているところでございます。このたびの補助金というのは、単に今後の物価上昇の差額を補填するためのものではなくてということで、ある程度、令和3年度内

のコロナ禍による物価上昇等の負担も含めて算定していいということになっているということで、今までのようなご説明をさせていただいたところでございます。ですので、物価高騰の中においても、地産地消に配慮した質の高い給食を提供するための支援だということと考えておりますので、その補助金の趣旨にのっとりまして、地元産にこだわって、付加価値の高いということでこだわりながら、おいしい給食が子供たちに提供できるよう、給食会計の中でしっかりと使わせていただきたいなと思っております。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 趣旨と方法については、給食会計でトータルで使うんだというのは十分分かりました。それで、さらに今の回答からいうと、これからの物価上昇分、例えば食材が残ったときには考えてなくてという回答もさらに付け加えていいのかどうか。全体の会計の中で年間通して帳尻が合えばいいということでは分かるので、4月、5月、6月分の補助金額をどういうふうに扱うのかって考えた場合、これから7月以降の給食費に今までの3か月分も充てるのか。ストックを最後までして、例えば余剰金が出たとき、来年度に回すのか。そういうことになるのか。そこを私は確認をしたいんです。急激に給食費を下げるなんていうことでは決してないと思うので、食材費が上がっているわけですし、そこをちょっともう一回教えてください。

○浅野敏明議長 佐藤秀人給食共同調理場長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 お答えをいたします。

長井市の給食会計は私会計ということで、単年度限りの会計で、その中で使い切るという形でやっている会計でございますので、4月、5月、6月に相当する分の補助につきましては、残りの年度内、7月以降の3月までの会計の中

でしっかりと使い切る、質の高い給食を目指していくということになろうかと思っております。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 十分理解しますが、私の質問に十分に答えられていないので、俺、理解できないのは、今までの遡った3か月分はどこにやるのやということ。残りの9か月でトータルして食材をもっといいものを子供らに供給するのかどうか。そこを聞きたいんです。分かりますか。

○浅野敏明議長 暫時休憩します。

午前10時29分 休憩

午前10時32分 再開

○浅野敏明議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

佐藤秀人給食共同調理場長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 説明不足で大変申し訳ございませんでした。

お答えいたします。

令和4年度の給食費につきましては、既に1年間固定するような形で保護者の皆様に通知をさせていただいております。1年間決まった単価で頂戴することになっております。今後の物価高騰に対しましては、今回の補正予算でいただきました補助金を導入しながら、学校給食会計を支援をさせていただいて、そのプールした金額の中で何とか回していきたいと考えているところでございます。ですので、4月、5月、6月ということで既に3か経過しているわけですが、その分につきましては、今後の物価上昇に対応するためにも使わせていただいて、しっかりと質の高い給食を子供たちに提供することで進めさせていただきたいと考えておりますので、最終的には収支の部分でいいま

すと、全て余らずに使い切るような形で給食を提供させていただくということで考えているということでございます。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 回答、よく理解できました。やっぱり遡ってという表現が非常に微妙なので、私は確認の意味でしたので、これから物価上昇が、年間通してだぜ、会計でいろいろ足りなくなる部分を想定して、3か月分は、ストックという言葉は悪いかもしれない。そのときそのとき活用していくということで、今の回答を理解したいなと思います。つまり、今現在は恐らく少し予定より赤字になっているということを保護者とか市民の方に伝えたほうがいいと思います。赤字って、3か月分だけ見ればです。国の新型コロナウイルス感染症対策とかで今回補填をするんだという説明を保護者の方々にもして、お願いをしておるんだなと思います。

あともう1点、この件に関しては、これも今泉議員から幼児の給食について質問ありました。人数とか、私立の幼稚園施設、児童施設の数や人数が例えば児童センターと違うので、給食費の換算については非常に難しいんだべなと思います。小学校、中学校、1食当たりの単価で計算すると、非常に難しい。人数も違うので、難しいんだけど、幼児の給食の上昇率が小学校、中学校より高いと。この中身は、生鮮果物が4.29円高いので、小学校、中学校よりは高くなったと、数字を見れば、見えるんだけど、これはどういう理由なのか。いわゆる幼児の給食の上昇率が高いというのは、どこがポイントなんですか。

○浅野敏明議長 どなたに質問ですか。

○13番 小関秀一議員 子育て推進課長。

○浅野敏明議長 鈴木幸浩子育て推進課長。

○鈴木幸浩子育て推進課長 お答えさせていただきます。

幼児給食につきましては、先ほど議員のほうからもありましたように、果物関係が高くなっているところがございます。やはり幼児の給食の食材のバランスと申しますか、栄養のバランスを考えたときに、やっぱり果物というもの提供というのが非常に多くなっているところがございます。そういったところで、こちらのほうが高くなっているところがございます。

また、魚類につきましても、小・中学校よりも高くなっているところございますけれども、やっぱり加工食品の部分を減らしまして、生の食材を購入しまして、加工して提供しているところがございます。そういったところもありまして、こちらのほうが小・中学校のほうよりも高くなっているというような状況がございます。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 今の説明は分かりましたが、小学校、中学校と比べ、果物等がすごく上昇率が高いということ、この数字を見る限り。こんなに違うんだべかなんてびっくりするほど違う。上昇額が小・中学校は0.61円で、幼児は4.29円、ということなんですが、これは、小さいお子さんに果物類をいっぱい食べさせるからということではないよな、上昇額だからな。そこちょっと分からないので、もう一回分かりやすいように説明してください。

○浅野敏明議長 鈴木幸浩子育て推進課長。

○鈴木幸浩子育て推進課長 お答えさせていただきます。

果物関係の1食当たりの給食の単価でございますが、小学校、中学校ですと、5円というところがございますが、幼児のほうは35.2円というところがございます。ここは、やっぱり果物の提供回数が小学校よりも非常に多いというところがございます。こういったもとの単価が高いというところに加えて、上昇額も高

くなっているということがございますので、そこで小・中学校よりも金額としては上がってきているという状況でございます。

○浅野敏明議長 よろしいですか。

13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 分かりました。消費者物価指数で、令和4年の4月で果物は12.2%ということなので、今説明あったように、提供する量が小・中学校よりは幼児のほうが多いと。なので、こういう結果だということは理解しました。今後とも、特に地元の食材をできるだけ多く供給をしてもらえるようお願いしたいものだと思います。

あともう1点は、スクールバス運行事業について2,169万2,000円、これは、1台スクールバスを増やすということで、事業の目的については、登下校の乗車人数を減らすためと、三密を回避するためということで、さらにプラズマクラスターイオン発生装置、どのぐらいするのか。ちょっと全員協議会の説明では、きぱつとしたここだけの値段は説明なかったんですが、長井市全体のスクールバスの台数がそれぞれ導入時期に差があっても、また更新時期に差があっても、大分古くなっていることについては事実だと思います。この際、三密を減らすということも含めて、スクールバスの購入については賛同しますが、今まで6台あったものを7台にした場合の運行については適宜という説明があったと思います。人件費等が増えない限り、適宜運行ができるのかどうかちょっと疑問だったので、これについては教育総務課長にお尋ねをします。

○浅野敏明議長 佐藤秀人教育総務課長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 お答えを申し上げます。

6台を7台にした場合の運行体制ということでよろしかったでしょうか。お答えをいたします。

スクールバスにつきましては、今現在、6台体制で運行委託契約を業者と結んでおります。それぞれ1台当たりの稼働日数であったり、あとは稼働時間について契約を結ぶ形で運行させていただいているということでございますので、納入時期によってちょっといろいろな対応というところはあろうかと思いますが、今現在の納入予定時期、冬期間ということになるかと思いますが、入った場合、ある程度冬期間の運行時間はもう既に11月から決まっておりますので、それを補足するような形で多分1台導入することになるかと思いますが、その場合ですが、プラスアルファの部分については、1台当たり1時間幾らということで、ある程度稼働時間、オプションという形で追加の業務委託料も示させていただいております。ですから、それに従って運転手さんを業者側のほうで確保していただくような形で、委託料をお支払いすることができるようにはなっております。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 ありがとうございます。もう委託料も考慮してということで、今、納入もなっていないので、まだ補正というか、委託料の補正については上がってこないと理解をします。冬あたりから運行が可能であれば、委託料の変更をするということだと理解をいたしましたので、例えばこれから納車された場合の車庫の問題とか、日当については大丈夫ですか。

○浅野敏明議長 佐藤教育総務課長。

○佐藤秀人給食共同調理場長 お答えをいたします。

当然車庫の問題とか、日当の部分の問題とかも出てくるかと思いますが、その辺につきましては、今後、検討ということになるかと思いますが、よろしく願いいたします。

○浅野敏明議長 よろしいですか。

13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 分かりました。

あと、プラズマクラスターイオン発生装置という新型コロナウイルス感染症の対応では非常にいい装置が新しい車にはつくということです。これって単品で買うと、どうなのか分かりませんが、ほかの従来のスクールバスには予定があるのですか。これからいろんな交付税措置の中で検討するということになりますか。

○浅野敏明議長 佐藤秀人教育総務課長。

○佐藤秀人教育総務課長 お答えをいたします。

既存のスクールバス車両へのプラズマクラスターイオン発生装置の設置ということでよろしいでしょうか。ということでございますけれども、後づけになるということもございまして、設置が可能だといたしましても、配線や配管など電気系統の問題があるようでございます。去年、導入実績のある自治体に聞き取りをしたところ、天井に設置する工賃込みで、1台当たり少なくとも30万円以上の経費がかかるようでございます。見積業者からは、昨今の電子部品ということで、納期が不透明な状況があるということで、実際、設置に係る明確な金額、納期は現時点で示されていないというところが実情でございます。予算に関することでございますので、市長部局と相談、協議を行う必要がございますけれども、子供の安心・安全にご配慮いただいた貴重なご意見でもございますので、設置につきましては、教育委員会の中でも検討してまいりたいと考えているところでございます。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 1台30万円ぐらいかかりそうだという概算の見積りなので、これについてもぜひ検討していただいて、特にスクールバスについては、冬場のほうが乗る人数なり、密閉をして暖房をかけながらという状況になると思います。今、新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある中ですが、やっぱりマスクなり、いろんな対策については継続をして、感染予防に努めるのは続くと思いますので、ぜひ教

育長はじめ、市長部局と話していただいて、検討していただきたいなと思います。

あともう一つ確認をします。スタインウェイのピアノの導入についてお尋ねをします。

これについては、社会教育費の市民文化会館費の中の備品購入費として、大変長井市に造詣のあられる方からの寄附ということで説明をいただきました。私、素人なので、このピアノの価値なりが分からないわけですが、この方がこれまでどういう形で長井市に関わってこられたのかが非常に注目されるわけですが、この金額が、こういうピアノというか、楽器の価値というのは、例えばほかの楽器だって何億円もするもの世の中にはあるわけなんです。ピアノの価値の説明と、長井市がこれからこのような貴重なものを頂いて、芸術文化にどういうふうにかかしていくのかというのが課題だと思います。ただ文化会館へ飾っていたということでは、寄附していただいた方の意に沿わなくなるわけだし、最近、この駅のホールというか、市民交流ホールにも長井ロータリークラブからピアノが寄贈されて、ようやくどなたかが時間あるとき、弾いたりしている音をお聞きしたりするので、非常に市民交流ホールの雰囲気はよくなったべなと思うし、私は個人的には、定期的に週に1回とか、ミニコンサートみたいな、ぜひ企画してもらいたいものだなという希望もあるわけですが、それでしたので、今回寄贈されたスタインウェイのピアノの活用について、あと寄附者から何か市への要望、活用方法についての要望などありましたら、政策推進監にお尋ねします。

○浅野敏明議長 竹田利弘政策推進監。

○竹田利弘政策推進監 ただいまの質問に、私のほうからお答えさせていただきます。

このたびのピアノの寄贈に当たりましては、きっかけでございますが、2006年10月9日と10日の両日、今回寄贈いただきます瀧井敬子様への企画のプロデュースで、長井市民文化会館でオ

ペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」の日本初演が行われました。このオペラの題名にあるとおり、ゼッキンゲンとあるように、長井市のドイツの姉妹都市を舞台にしたオペラでございます。

このオペラでございますが、瀧井敬子先生と申し上げますが、先生は、元東京藝術大学の特任教授、あと元くらしき作陽大学の特任教授で、音楽学者でございます。音楽学の専門分野は日本近代洋楽史ということで、いわゆる森鷗外とか夏目漱石とか、そういった時代の音楽史を勉強なさっている方、研究なさっている方でございます。

それで、このオペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」でございますが、森鷗外がドイツに留学中、ドイツのライプツィヒという市で見た作品であり、そのことを発見したのがこの瀧井敬子先生でございます。瀧井先生は、ドイツと交渉して、いわゆるスコアとパート譜、音楽のいわゆる楽譜ですね、も入手しまして、それに校正を加えた楽譜の著作権も持ってらっしゃいます。瀧井敬子先生が日本初演を、通常ですと、やっぱり東京で行うのが通常でございますが、あえて東京では行わず、長井市で行ったということは、長井市がゼッキンゲン市と長い間姉妹都市で友好関係を結んでいるから、やはり地方の活性化ということを目指して、長井市で開くのが一番いいだろうということで、長井市のほうにお声がけをいただいて開いた経過がございます。

このことから、瀧井先生も申しておりますが、音楽活動の歴史の中で、長井市が非常に重要な地になっていると。一緒にオペラづくりをした市民合唱団の方にもかなり参加いただけたものですから、そういった方が住んでいる長井市の音楽文化の向上と活性化のためにピアノを寄贈させていただいて、そのピアノを使って長井市の文化力向上、音楽力の向上ですね。あと、特

に若い世代の音楽力向上に役立てていただきたいということで寄贈いただいたものでございます。

あと瀧井先生につきましては、今はやはりインクルーシブ教育とか、そちらのほうのいわゆる健常者だけではなくて、いわゆる障害をお持ちの方とか、そういった方とも一緒にやはり芸術活動を向上したいということもございまして、そういった活動も通じて、このピアノを生かしていただきたいというものでございます。

あと、今後のピアノを生かす展開でございますが、やはりピアノはただあるだけでは宝の持ち腐れでございます。今、計画段階でございますが、瀧井先生、東京藝大の特任教授なされていたように、やはり著名な音楽家を、特にピアニストとかオーケストラかなり知ってらっしゃいます。そういった方々を一般的な、いわゆるエージェントを通した値段、価格ではなくて、瀧井先生からご紹介いただいて、いわゆる安価な料金で広く聞いていただけるような金額も設定しながら、あと、子供たちにも聞いていただけるような金額の設定をしながら、やはり年に数回、ピアノのコンサート、あと例えばオーケストラとのコンサートというのをやはり定期的に開けるんじゃないかということで、今、検討中でございます。やはりその場合についても、当然、私も詳しくは、音楽の専門家じゃないですけれども、やっぱりスタインウェイの今回頂く金額のピアノは、いわゆるスタインウェイのピアノというのは、今、ニューヨークとハンブルクで、2つで作っていますが、日本に来るスタインウェイのピアノはハンブルク工場製しか輸入できないと。代理店制度もありまして、基本的には定価販売ですので、金額的には、今あるスタインウェイの市販のピアノで最高額のピアノでということでございます。やはりこういったピアノですと、やっぱりできる曲、あと演奏家も、このピアノだったら弾きたいという演



奏家もいらっしゃるということで、やはり長井市の音楽力向上のためにもぜひ役に立てていきたいと考えておりますし、当然ただそういう演奏家が弾くだけではなくて、長井市に住む子供たちにも広くこういったピアノを弾いていただいて、やはり音楽力向上のために続けていきたいと考えてございます。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 ありがとうございます。

大変貴重なものを、しかも、ピアノに造詣のある方から、音楽に造詣のある長井市というお墨つきをもらいながら、品物も頂いたというのは、これは大変な宝物を頂いた。しかも、それを生かしていくには、これからいろんな企画なりをしていただいて、活用していくということが長井市民の課題になるとすれば、今、政策推進監からもあったように、これから子供たちや一般の市民の方に広く触れてもらう、耳や手で、手で、一般の人がいいのかどうか分からない。という活用をして、長井の芸術文化をさらに高めるようにぜひ企画をしていただきたいなと思います。幸いなこととというか、山形交響楽団のタウンコンサートもようやく計画がのってきまして、これ3年間だけになるのかどうか。そこを私、心配しているんですが、ぜひ今回のピアノなんかも今年のやつは間に合うのかどうか、このピアノが。そこをちょっと確認して、せっかくのいいピアノを、山形交響楽団コンサートで初演というか、初使いできるのかどうか、ちょっともう一回確認します。

○浅野敏明議長 竹田利弘政策推進監。

○竹田利弘政策推進監 お答えいたします。

今の予定でございますが、今日の議会の議決を得た後に正式な発注をいたしますと、入っても、やっぱり今年の後半、10月か11月ぐらいにしか入らないということでございます。当然海外から運ぶと。あと、当然ピアノなんかもある程度、瀧井先生のご助言をいただきながら選定

もさせていただくということですので、そういう状況でございます。

それで、今回の先ほど議決いただきました補正予算第3号でユアタウンコンサートの予算を議決いただけたものですから、それとも調整しておりますが、そのコンサートには、このピアノ間に合わないということです。あと、当然ピアノが入ったとしても、長井市の空気に慣らすために、1か月間ぐらいはいわゆる弾かなきゃいけないと。それも、過日、実は市長と私が瀧井先生のお宅にお伺いして、いろいろ情報交換というか、意見交換をさせていただいたときに、きれいなピアノをつくるための、最初の弾き込みというか、例えば1か月程度と言われていますが、そこにやっぱり長井市の子供たちとというか、音楽を知っている人たちにぜひ弾いていただきたいと。それで、その後にスタインウェイ社の調律師がきちんと直すという段階じゃないと、お披露目がやっぱりできないということなものですから、そのユアタウンコンサートにはちょっと今のところ間に合わないのかなということです。ただ、先ほど申し上げた、ピアノがきちんとなるのが多分11月下旬になると思いますので、その辺をめどにピアノのコンチェルトとか、あと、今後、先ほどご助言いただいたように、山形交響楽団ともちょっと調整をしながら、ユアタウンコンサートという形になるのか、それとも、別な形になるのか、当然ピアノ単体のコンサートもいいと思いますし、あと、オーケストラとのいわゆる協奏曲のほうも別な形でいいと思いますので、その辺は広く活用できるように、瀧井先生のご助言もいただきながら進めていきたいと考えてございます。

○浅野敏明議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 詳しく説明いただきました。これから気をもまないで例えば納品になってから、すぐ使えというつもりもないし、その先生がおっしゃられるような手順を踏んで、

あと、調律についても毎年だと思いますが、やっぱりある程度維持費については経費もかけながら、長く愛されるようなことにさせていただきたいなと希望を述べました。

長井高校のピアノについても、毎年活用しながらということ、愛されるような楽器をそれぞれの施設の誇りにしていくということが大事なのかなど。品物を頂いたという気持ちに応えられるようにぜひお願いをして、以上です。

○浅野敏明議長 ほかにございませんか。

質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第40号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第40号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第40号は、原案のとおり決定いたしました。

#### 日程第4 議案第41号 長井市教育委員会教育長の任命について

○浅野敏明議長 次に、日程第4、議案第41号長井市教育委員会教育長の任命についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 議案第41号 長井市教育委員会教育長の任命についてご説明申し上げます。

本案は、令和4年7月9日をもって任期満了となる本市教育長に、引き続き土屋正人氏を任

命いたしたく、ご提案申し上げるものでございます。

よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明議長 提案者の説明が終わりました。

ここで、審議の都合上、土屋正人教育長の退席を求めます。

(土屋正人教育長退席)

○浅野敏明議長 本件は人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、直ちに採決いたします。

議案第41号について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第41号は、原案に同意することに決定いたしました。

ここで、土屋正人教育長の復席を求めます。

(土屋正人教育長復席)

○浅野敏明議長 土屋正人教育長に申し上げます。

あなたの長井市教育委員会教育長の任命に同意することに決定いたしましたので、告知いたします。

#### 日程第5 議案第42号 長井市固定資産評価員の選任について

○浅野敏明議長 次に、日程第5、議案第42号長井市固定資産評価員の選任についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 議案第42号 長井市固定資産評価員の選任についてご説明申し上げます。

本案は、人事異動に伴い、新たに長井市固定資産評価員に高橋嘉樹税務課長を選任いたした

く、ご提案申し上げるものでございます。

よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

10 番 鈴 木 富美子

○浅野敏明議長 提案者の説明が終わりました。

11 番 赤 間 泰 広

本件は人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、直ちに採決いたします。

12 番 梅 津 善 之

議案第42号について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○浅野敏明議長 起立全員であります。

よって、議案第42号は、原案に同意することに決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○浅野敏明議長 ご異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

## 閉 会

○浅野敏明議長 これをもって令和4年6月長井市議会定例会を閉会いたします。ご協力誠にありがとうございました。

午前11時08分 閉会

会議録署名議員

議 長 浅 野 敏 明